【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成28年1月14日(2016.1.14)

【公開番号】特開2015-212846(P2015-212846A)
【公開日】平成27年11月26日(2015.11.26)
【年通号数】公開・登録公報2015-074
【出願番号】特願2015-165231(P2015-165231)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｇ　15/20　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｇ　15/20　　５１５

【手続補正書】
【提出日】平成27年10月21日(2015.10.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
発熱層を有する筒状のベルトと、
前記ベルトに接触してニップ部を形成する加圧部材と、
前記発熱層に電力を供給するための給電部材と、を有し、
前記発熱層は前記発熱層に流れる電流によって発熱しており、
前記ニップ部で画像が形成された記録材を搬送しながら加熱して前記画像を記録材に定着する定着装置において、
前記給電部材は、前記ベルトの長手方向における前記ベルトの両端部の外周面又は内周面のいずれか一方に接触するように設けられており、
前記ベルトの両端部には、前記ベルトの厚み方向に関し前記発熱層の前記給電部材がある面と反対側の面に前記ベルトの回転方向に沿って導電層が設けられ、
前記ベルトは、前記ベルトの長手方向において、前記ベルトの両端部の間に前記導電層が設けられていない領域を有することを特徴とする定着装置。
【請求項２】
前記給電部材と前記ベルトとが接触する領域の少なくとも一部は、前記ベルトの長手方向において前記導電層と重なっていることを特徴とする請求項１に記載の定着装置。
【請求項３】
前記給電部材と前記ベルトとが接触する全領域は、前記ベルトの長手方向且つ前記ベルトの回転方向に関し前記導電層と重なっていることを特徴とする請求項１又は２に記載の定着装置。
【請求項４】
前記導電層は、前記ベルトの回転方向の全周に設けられていることを特徴とする請求項１～３のいずれか１項に記載の定着装置。
【請求項５】
前記導電層は、前記発熱層よりも表面抵抗値が小さいことを特徴とする請求項１～４のいずれか１項に記載の定着装置。
【請求項６】
前記給電部材は前記ベルトの内周面に接触し、前記導電層は前記発熱層の外周面に設けられ、前記ベルトには、前記導電層の外周面を被覆する被覆層が設けられていることを特

徴とする請求項１～５のいずれか１項に記載の定着装置。
【請求項７】
前記発熱層は、導電性フィラーが分散されたポリイミド樹脂の層であることを特徴とする請求項１～６の何れか１項に記載の定着装置。
【請求項８】
前記導電層は、前記発熱層にコーティングされた銀ペーストの層であることを特徴とする請求項１～７の何れか１項に記載の定着装置。
【請求項９】
定着装置に用いられる筒状のベルトにおいて、
発熱層と、
前記発熱層の前記ベルトの長手方向の端部が前記ベルトの外部に対して露出するように前記発熱層を覆う被膜層と、
を有し、
前記ベルトの前記長手方向の端部のうち、前記ベルトの厚み方向に関し前記発熱層の前記端部が露出している側と反対側の面に前記ベルトの回転方向に沿って導電層が設けられていることを特徴とするベルト。
【請求項１０】
前記導電層は、前記ベルトの回転方向の全周に設けられていることを特徴とする請求項９に記載のベルト。
【請求項１１】
前記発熱層は、導電性フィラーが分散されたポリイミド樹脂の層であることを特徴とする請求項９又は１０に記載のベルト。
【請求項１２】
前記導電層は、前記発熱層にコーティングされた銀ペーストの層であることを特徴とする請求項９～１１の何れか１項に記載のベルト。
【請求項１３】
前記導電層は、前記発熱層よりも表面抵抗値が小さいことを特徴とする請求項９～１２のいずれか１項に記載のベルト。
【請求項１４】
前記導電層は前記ベルトの長手方向における前記ベルトの両端部に設けられ、
前記ベルトは、前記ベルトの長手方向に関し前記ベルトの両端部の間に前記導電層が設けられていない領域を有することを特徴とする請求項９に記載のベルト。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
本発明の好適な実施形態の一つ目は、発熱層を有する筒状のベルトと、前記ベルトに接触してニップ部を形成する加圧部材と、前記発熱層に電力を供給するための給電部材と、を有し、前記発熱層は前記発熱層に流れる電流によって発熱しており、前記ニップ部で画像が形成された記録材を搬送しながら加熱して前記画像を記録材に定着する定着装置において、
前記給電部材は、前記ベルトの長手方向における前記ベルトの両端部の外周面又は内周面のいずれか一方に接触するように設けられており、前記ベルトの両端部には、前記ベルトの厚み方向に関し前記発熱層の前記給電部材がある面と反対側の面に前記ベルトの回転方向に沿って導電層が設けられ、前記ベルトは、前記ベルトの長手方向において、前記ベルトの両端部の間に前記導電層が設けられていない領域を有することを特徴とするものである。
本発明の好適な実施形態の二つ目は、定着装置に用いられる筒状のベルトにおいて、

発熱層と、前記発熱層の前記ベルトの長手方向の端部が前記ベルトの外部に対して露出するように前記発熱層を覆う被膜層と、を有し、前記ベルトの前記長手方向の端部のうち、前記ベルトの厚み方向に関し前記発熱層の前記端部が露出している側と反対側の面に前記ベルトの回転方向に沿って導電層が設けられていることを特徴とするものである。